



きも う 気持ちを受けとる

2024/9/30

No.32

岩渕和信

3年生、道徳『たてわりはんそうじ』というお話し。

はじめの場面を演じています。



夕里役「いつきくん、今日はぞうきんの係をしてね」

いつき役「ぼく、今日もほうきを使いたい！」

夕里役「先週もほうきだったでしょ」

いつきは、だまって下を向いてしまいます。「もう。いつきくんなんて、知らないから」

そのときの夕里の気持ちは・・・

「先週やったのに」「ぞうきんやってほしい」「なんで話をきいてくれないの」というみんなの意見が出ました。

続きの場面、他の3人で演技します。

通りかかった保健室の先生役「いつきくん、どうしたの」

いつき役「朝、先生に教わったほうきの使い方を早くためたくて。でも——」

夕里は、そう話すいつきのすがたをみつめていました。

そのときの夕里の気持ちは・・・



「はじめて知ったよ」「理由を知りたかったな」「強く言って悪かったな」「ざいあくかん」



では最後に、相手の話を聞くときに大切なことは何でしょう・・・

「気持ちを受けとる」「はんのうする」「体の向き」

「いいね」「ひょうじょうにだす」「むししない」

「受ノ心！」

なんで戦争するんだろう。多分、相手の情報を知らないからじゃないかと。

互いにちゃんとリスペクトすれば、争わなくてすむ。 (花井裕一郎)